

施策名：国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速

事業名	担当課・室名	ページ
国内誘客総合推進事業	観光誘致促進室	1 / 3
観光誘客緊急対策事業	観光誘致促進室	1 / 3
観光マーケティング推進事業	観光誘致促進室	1 / 3
大分のサイクル魅力発信事業	観光誘致促進室	2 / 3
ゲストイネーションキャンペーン推進事業	観光誘致促進室	2 / 3
インバウンド推進事業	観光誘致促進室	2 / 3
広域ツーリズム推進事業	観光誘致促進室	3 / 3
ツーリズム推進基盤強化事業	観光政策課	3 / 3

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-3-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
1	<b>国内誘客総合推進事業</b> ( R1 ~ ) 観光誘致促進室 旅行需要が多様化する中、国内旅行者の誘客を促進するため、首都圏などの富裕層、リピーターとなる近隣県等をターゲットとし、それぞれのニーズに応じた情報発信や誘客対策を推進する。	①地域資源のターゲット特性に応じた誘客 ・デジタルマーケティングを活用した情報発信 ・宇宙港やアドベンチャーツーリズムなど主要コンテンツの強化及び受入環境の整備 ・主要圏域別（関東・関西・九州）の誘客対策 ・商談会による販売促進 ②情報発信 ・定期刊誌（年4回）の作成 ・HP・ガイドブック・SNS等による情報発信 ③団体誘客の推進 ・教育旅行商談会や旅行会社招聘による販売促進 ・MICE助成金による誘致	① 60,847 ③ 5,960 ② 22,429 ④	<b>観光入込客数</b> [千人]	目標値	20,600	20,700	20,850	D
					実績値	13,687	15,149	—	
			主な活動指標と達成率 SNS発信回数	目標値	245	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針			
			[回] 達成率 134.3% 旅行会社訪問回数	目標値	100	SNS等を活用した情報発信やオンライン商談会の実施、団体誘客の推進に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響でコロナ禍前の約8割の回復に止まり、目標を下回った。 令和5年度は福岡・大分デスティネーションキャンペーンの開催に向け、地域資源を活用したコンテンツ開発や効果的な情報発信、誘客対策を行う。			
予算額 (うち翌年度繰越額) 125,147 (0) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 124,698 (49,949)		実績値 329 達成率 100.0% [社・団体]	実績値 100 達成率 100.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
2	<b>観光誘客緊急対策事業</b> ( R2 ~ R5 ) 観光誘致促進室 GoToトラベル事業の延期等の影響を受けた観光関連産業を支援するため、大分県民や九州ブロック、隣県の県民を対象とした宿泊割引等を実施するとともに、誘客に向けた効果的なプロモーションを実施する。	①割引旅行商品等を活用した誘客対策 宿泊割引等を実施 【県民割】 補助率：1/2、限度額 5千円/人泊 地域クーポン券の発行：限度額 2千円/人泊 (令和2年7月豪雨の被災地域は4千円/人泊) 【全国旅行支援】 ①10/11~12/27 ②1/10~3/31 ①補助率：40%、上限5千円/人泊（交通付：8千円） 地域クーポン券 限度額 3千円/人泊 ②補助率：20%、上限3千円/人泊（交通付：5千円） 地域クーポン券 限度額 2千円/人泊 ②誘客対策に向けた効果的・戦略的なプロモーション 大分県出身のタレントを起用したプロモーション動画を作成し、web広告、SNS等により誘客に向けた情報発信を実施	① 17,007,188 ③ ② 99,506 ④	<b>観光入込客数</b> [千人]	目標値	20,600	20,700	20,850	D
					実績値	13,687	15,149	—	
			主な活動指標と達成率 観光誘客プロモーション動画のYouTube視聴回数	目標値	3,000,000	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針			
			[回] 達成率 117.6%	目標値	3,527,505	宿泊割引等を実施するとともに、誘客プロモーション動画を作成・配信して県内外へ情報発信を行うことで誘客を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響でコロナ禍前の約8割の回復に止まり、目標を下回った。 引き続き宿泊割引等を実施して効果的な誘客につなげていく。			
予算額 (うち翌年度繰越額) 19,514,189 (2,407,495) 決算額 (うち国庫支出金) 17,106,694 (17,106,694)		実績値 達成率	実績値 達成率						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
3	<b>観光マーケティング推進事業</b> ( R2 ~ R4 ) 観光誘致促進室 観光産業の競争力強化と効率的な観光誘客を図るため、SNS等から得られる観光客の消費動向等のデータを収集・分析し、最適な情報発信や旅行商品の開発等につなげる。	①旅行者の消費動向分析 データベンチャー等を活用し、旅行者の消費動向に関するデータ収集、分析を実施 ②旅行者等の興味関心・行動調査 ビッグデータ等を活用し、旅行者の興味関心や周遊に関する行動分析を実施 ③デジタル活用研修会 県内全域の宿泊施設、観光施設、観光協会、自治体などを対象に、SNSの活用や消費行動分析等の研修を実施 ④観光統計の充実 日本観光振興協会が運営する観光予報プラットフォームを活用し宿泊需要の調査を実施	① 14,147 ③ 303 ② 8,622 ④ 131	<b>観光入込客数</b> [千人]	目標値	20,600	20,700	20,850	D
					実績値	13,687	15,149	—	
			主な活動指標と達成率 デジタルセミナー開催回数	目標値	2	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針			
			[回] 達成率 50.0%	目標値	1	旅行者の消費行動分析や宿泊需要予測を行い、誘客施策に活用したが、政府の水際対策の影響でインバウンドが低迷したことなどから目標を下回った。なお、観光事業者等にも分析結果を共有するとともに、デジタル活用に係る研修会を実施することで自らのマーケティングへの活用を促した。 最新の行動分析に基づく施策を継続展開し、効果的な誘客につなげていくため、令和5年度から「ツーリズム推進基盤強化事業」のメニューとして実施する。			
予算額 (うち翌年度繰越額) 26,509 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 26,509 (11,604)		実績値 達成率	実績値 達成率						

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-3-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
4	<b>大分のサイクル魅力発信事業</b> ( R4 ~ R6 ) 観光誘致促進室 ツール・ド・九州2023を契機にサイクルツーリズムを推進するため、サイクルを活用した滞在型観光モデルコースの作成やSNSを活用した情報発信等に取り組む。 予算額 (うち翌年度繰越額) 19,804 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 19,268 (9,362)	①大分サイクルツーリズム推進委員会の運営 ・大会情報の国内外への発信等を実施 ・滞在型観光モデルコース等の作成や情報発信等によりサイクルツーリズムを推進 ②「サイクリングおおいた」HPの改修 サイクルロードマップ情報やモデルコース等の情報を一新し、情報発信を強化 ③ディスカバー九州への負担金	① 8,060 ③ 2,000 ② 7,144 ④	<b>県内宿泊者数</b> [千人泊]	目標値		7,670	7,750	C
					実績値	6,302	—		
				達成率	82.2%	—			
				主な活動指標と達成率 大分サイクルツーリズム推進委員会の開催回数 [回] 目標値 3 実績値 3 達成率 100.0% サイクル推進部会の開催 [回] 目標値 6 実績値 3 達成率 50.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 大分サイクルツーリズム推進委員会を設立してサイクルツーリズム推進に向けた協議を行うとともに、受入環境の整備および情報発信を行い、関係者の観光客受入に対する意識醸成を図ったが、政府の水際対策の影響でインバウンドが低迷したことなどから目標を下回った。 今後は、受入環境の整備をさらに進めて「観光×サイクル」を構築し、初心者や観光客から愛好者まで幅広い客層への情報発信と誘客活動を推進する。				

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
5	<b> destinations キャンペーン推進事業</b> ( R4 ~ R6 ) 観光誘致促進室 令和6年春に開催する福岡・大分DCの機運醸成と誘客を図るため、交通事業者と連携し事前プロモーションを実施する等準備に取り組む。 予算額 (うち翌年度繰越額) 44,074 (19,998) 決算額 (うち国庫支出金) 24,074 (0)	①大分県DC実行委員会負担金拠出 ・福岡・大分DC実行委員会設立、開催 ・大分県DC実行委員会設立、開催 ・全国宣伝販売促進会議開催に向けた事前準備 ・福岡・大分DCの特設サイト開設 ・おもてなし宣言団体の募集	① 24,074 ③ ②	<b>日本人宿泊客数</b> [千人泊]	目標値		5,960	5,960	A
					実績値	6,132	—		
				達成率	102.9%	—			
				SNS広告配信表示回数 [回] 目標値 4,300,000 実績値 2,882,456 達成率 67.0% 大分県DC実行委員会開催回数 [回] 目標値 2 実績値 2 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 交通事業者とのプロモーション連携や旅行会社への商品造成支援等を実施した結果、新型コロナウイルスの影響で国内の観光需要が停滞する中でも目標を達成した。 今後は、全国宣伝販売促進会議開催やプレDCを通じた情報発信やおもてなし宣言団体による県内機運醸成を図り、DCを契機とした観光産業の復活を加速させる。				

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
6	<b>インバウンド推進事業</b> ( H27 ~ ) 観光誘致促進室 東アジアをはじめ、欧州、大洋州、ASEAN諸国等からの観光誘客を図るため、富裕層やリピーターをターゲットにしたプロモーションなど、各国・地域ごとのニーズに応じた情報発信や誘客対策を展開する。 予算額 (うち翌年度繰越額) 403,805 (109,468) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 289,456 (108,704) (86,178)	①市場に応じた誘客対策 ・10ヶ国・地域に戦略パートナーを設置し、市場別に誘客戦略を構築するとともに、誘客対策を展開 ・現地商談会や海外旅行会社向けのセミナー、海外旅行会社の招請事業等を実施 ②SNS等を活用した情報発信 ・観光情報発信チャンネル「沸騰大分」(YouTube)で、県内留学生を活用して県内の魅力を発信 ・フェイスブックやインスタグラム、Weibo、WeChat等を活用し、最新の観光情報を発信	① 162,951 ③ ② 88,894 ④	<b>外国人宿泊客数</b> [千人泊]	目標値	1,630	1,710	1,790	D
					実績値	25	170	—	
				達成率	1.5%	9.9%	—		
				主な活動指標と達成率 旅行会社セールス実施回数 [回] 目標値 26 実績値 47 達成率 180.8% メディア等招請事業実施回数 [回] 目標値 28 実績値 21 達成率 75.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 10ヶ国・地域に設置した戦略パートナーを活用し、商談会やセミナーなど現地での誘客活動を積極的に実施するとともに、新たに留学生を活用した観光動画の発信にも取り組んだが、政府の水際対策の影響でインバウンドが低迷したことなどから目標を下回った。 本県を訪れる外国人旅行者は着実に回復しており、特にタイ等の航空便が回復した一部市場からは、コロナ禍前を上回る観光客が訪れているため、消費拡大に繋がる高付加価値コンテンツの商品化や国際イベントを活用した誘客等に取り組む。				

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-3-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価		
7	<b>広域ツーリズム推進事業</b> ( R1 ~ ) 観光誘致促進室	①広域観光推進組織との連携した誘客 ・観光素材説明会や商談会の開催（2回） ・九州知事会、九州地域戦略会議等での観光振興の取組を推進	①	37,780	③	1,053	<b>県内宿泊者数</b>  [千人泊]	目標値	7,590	<b>7,670</b>	7,750	<b>C</b>
			②	3,150	④			実績値	4,160	<b>6,302</b>	—	
	主な活動指標と達成率		達成率	54.8%	<b>82.2%</b>	—						
	九州各県や国内DMO、日本観光振興協会等と連携し、効果的な誘客活動の実施と相互交流の推進を図る。		②東九州軸で連携した観光誘客 宮崎県と連携した情報発信や誘客活動の実施	九州観光機構会議参加回数	目標値	5	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 九州観光推進機構との広域連携や九州各県との連携事業により誘客に取り組んだ結果、県内宿泊者数はコロナ禍前の8割程度まで回復したが、政府の水際対策の影響でインバウンドが低迷したことなどから目標を下回った。 令和5年度は旅行需要の回復に伴い、九州各県との連携を強化し、巻き返しを図っていく。	実績値	6			
	③九州横断軸で連携した観光誘客 熊本県、長崎県と連携した情報発信や誘客活動の実施		[回]	達成率	120.0%							
予算額 (うち翌年度繰越額)		決算額 (うち国庫支出金)		東九州軸連携会議開催回数	目標値	5		実績値	9			
43,228 (0)		42,887 (0)		[回]	達成率	180.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価		
8	<b>ツーリズム推進基盤強化事業</b> ( R4 ~ ) 観光政策課	①ツーリズムおおいマーケティング機能等の強化 ・住民満足度等の調査を実施 ・観光マーケティング会議の開催（3回） ・着地型旅行商品の造成等を支援 (旅行商品数21増)	①	33,836	③	275	<b>県内宿泊者数</b>  [千人泊]	目標値		<b>7,670</b>	7,750	<b>C</b>
			②	5,411	④			実績値		<b>6,302</b>	—	
	主な活動指標と達成率		達成率		<b>82.2%</b>	—						
	観光統計調査等の分析を行うとともに、アウトドアガイド認証制度の創設や着地型旅行商品の造成等に取り組むことにより、観光客の受入体制の強化を図る。		②アウトドアガイド認証制度の創設 認証制度創設に向けた検討委員会の開催（5回）	マーケティング会議開催回数	目標値	2	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 マーケティング分析結果の提供、着地型旅行商品の企画・造成支援等を通じて市町村観光協会等と連携して誘客施策を実施したが、政府の水際対策の影響でインバウンドが低迷したことなどから目標を下回った。 今後は、マーケティング分析の精度を一層高めて効果的な誘客施策の展開につなげるとともに、アウトドア認証制度の運用によりアウトドア志向の観光客受入体制を整えることで、ツーリズム推進の基盤強化を図る。	実績値	3			
	③ツーリズム戦略推進会議の開催 第4期ツーリズム戦略の進捗管理のための会議を開催（2回）		[回]	達成率	150.0%							
予算額 (うち翌年度繰越額)		決算額 (うち国庫支出金)		ツーリズム戦略推進会議開催回数	目標値	3		実績値	2			
42,881 (0)		40,397 (13,157)		[回]	達成率	66.7%						